

# ケアマネジメント実践ネットワーク メールマガジン Vol.5

2023/8/22 配信分



## 今回のメインピック

### 適切なケアマネジメント手法実践研修における事例の紹介 part 4

性別	女性	認定区分	要介護3	年齢	69歳
居住形態	戸建て、独居		主な疾患	ラクナ梗塞、右半身不全麻痺	
利用サービス	デイサービス（週2回）、訪問リハ（週1回）、ヘルパー（週1回）、福祉用具貸与				

#### この事例を選定した理由

利用者本人は「今の生活に満足している」と話しているが、これまでやりたいこと、生活の目標等を聞き出す機会がなかった。69歳とまだ若いため、利用者自身の望む生活、人生に向けた支援をするための方法を検討したい。

#### 研修開始時における事例の課題：活動量の低下や脳梗塞・転倒のリスク

転倒リスクが高いことから、ベッドから手の届く範囲に必要なものを揃えており、自室で生活が完結する。その結果、活動量が減っている。また、独居のため食事や栄養の管理が不十分なことや、夜間頻尿による生活リズムの乱れ等が原因で、体重も増加しており、脳梗塞の再発や転倒のリスクが高くなっている。

#### 実践研修で着目した基本ケアの項目と実際の取り組みと変化

##### 📌項目7 食事及び栄養の状態の確認

**食事の内容の記録**を試みたが、右半身不全麻痺の影響で書き出して記録することが難しいため、**訪問時に詳細な聞き取りを行った**。現状ではバランスの取れている食事内容であったが、詳細に聞き取っているうちに、**利用者本人も栄養を意識するようになり、「栄養士に相談してみたい」と意欲的な発言があった**。実践研修参加者から、**栄養士との連携については地域包括支援センターや地域の栄養士会に相談してはどうか、との助言をもらったため、今後は栄養士との連携に向けて準備を進めている**。

##### 📌項目19 将来の生活の見通しを立てるための支援

友人とランチに出かけた際に、店の段差の上り下りが難しく、友人に手伝ってもらったそうだ。利用者の**「今後は手伝ってもらわずに移動できるようになりたい」という意向を確認**できた。自力で移動するというモチベーションを維持してもらえるように、**友人とのランチのエピソードに触れる、色々な場所に出掛けたいと思ってもらえるような会話を心がけた**。また、**自力で移動したいという意向は訪問リハの職員にも共有し、段差の移動を克服できるようなリハビリテーションの実施をお願いした**。

##### 📌項目25 体調把握と変化を伝えるための支援

夜間頻尿により睡眠不足となっていることが判明したため、泌尿器科の受診を勧めたが、恥ずかしい気持ちがあるのなかなか受診に繋がらなかった。**「ケアマネジャーに勧められて受診した旨を医師に伝えてください」と伝えたり、薬で改善する可能性がある点を伝えたり**と、受診のハードルが下がり、**受診の意欲が高まった様子があった**。

「適切なケアマネジメント手法」基本ケアに関する資料は下記HPから閲覧できます。

URL : <https://www.jri.co.jp/service/special/content11/corner113/caremanagement/04/>

▼冊子



▼項目一覧



## 実践研修を実施するための資料（令和4年度版）のご紹介

これまでメールマガジンでは実践研修の効果や実践研修に参加した方の事例を紹介してきました。今回は実際に実践研修を実施する際に役立つ資料をご紹介します。なお、実践研修関連の資料や動画はすべて日本総研の許諾を得ずに自由にご利用いただけます。研修開催などにご活用ください。

### 開催者ガイド

研修を開催する方を対象に、研修概要、研修教材、準備事項、研修中の対応事項、進行方法、よくある質問等をまとめたガイド



### 研修テキスト(投影資料)

研修講義の要点やグループワークの進行方法等、研修進行上必要な事項をまとめたパワーポイント形式の研修投影資料



### 講義動画

第1回研修の講義パートで用いるために手法の概要や研修内容を説明した講義動画4本（講義動画①の動画を掲載）



### 参加者ガイド

研修に参加する方を対象に、研修内容、研修に必要な資料、事前学習、よくある質問等をまとめたガイド



### ワークシート&アンケート

現場実践やグループワーク中の演習で用いる「自己点検&目標設定シート」、「現場実践振り返りシート」、「今後の実践宣言シート」、各研修後に実施する研修アンケート

### グループワークデモ動画

実践研修のグループワークの様子イメージが湧くように、実際の第2、3回研修のグループワークを再現した動画（第2回研修の動画を掲載）



## 適切なケアマネジメント手法検討委員インタビュー動画紹介

### 「尊厳の保持」

公益社団法人日本医師会 常任理事 **江澤和彦** 先生

江澤和彦先生の動画では、「尊厳の保障」について、ご自身のご経験を交えながらお話いただきました。

「尊厳の保障」は自立支援と並ぶ介護保険の大きな目的となっています。誰しもが人生の最後まで自分らしく生きていきたいと願っています。一方で段々と自分でできることは減ってしまいます。自分でできることが限られてきた際に、ケアをする方たちが利用者の想いに向き合っていくことが非常に重要となります。

日々のケアマネジメントの中で、利用者の尊厳の保障について立ち振り返り考える際に役立てていただければ幸いです。

動画の視聴はこちらから！



尊厳の保障

公益社団法人日本医師会 常任理事 江澤和彦

## このメールマガジンで取り扱って欲しいトピックを募集しています！

このメールマガジンでは、今後も「適切なケアマネジメント手法」などケアマネジメントに関する情報を発信していきます。ケアマネジメント実践ネットワーク会員の皆様は、このメールマガジンで取り扱って欲しいトピック、提供して欲しい情報などがございましたら、下記のお問い合わせ先までメールにてお気軽にご連絡ください。

次回の配信日は**2023年9月12日（火）**を予定しております。



お問い合わせ先

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター ケアマネジメント実践ネットワーク事務局 辻本、山内

E-mail

100860-caremaneML@ml.jri.co.jp

※事務局内での管理・共有のため、メールでのご連絡をお願いしております。